

野球部だより

野球部員のつぶやき～

…野球部監督 権 成基…

3月中旬より温かい日が続き、桜の開花を例年になく早く迎えた2019年の春、今年も医師会野球部の活動がレクザムスタジアムにおいて4月4日より開始となりました。今年は大変喜ばしいことに、4名の新入部員を迎えてのスタートとなりました。

一人目は県立中央病院内科の妹尾知典先生の長男である妹尾 知哉先生（大学で野球部、県立中央病院にて研修中）。二人目は前回の野球部だよりにも登場した、わたなべ耳鼻咽喉科の渡辺 裕之先生（大学で野球部）、三人目は三条整形外科スポーツクリニックの宮武 慎先生、そして四人目は今年6月11日にサンポート高松クリニックを開院された井垣 俊郎先生（医師会野球部員でした）です。昨年秋に入部された赤井 開先生（一高のエース）を含めると頼もしい野球経験者が4名入部したことになり、今年の高松市民早朝野球大会をはじめ多くの試合での好成績が期待されます。また、学生時代はバスケットボールをしていたという宮武先生は俊足なうえ肩も強く、外野手としての素質に恵まれているばかりでなくスイッチヒッターとして左右どちらでも力強いスイングが持ち味の選手です。

練習は開始したものの、早朝野球が開始する以前の執筆となった今回の野球部だよりは、以上の新入部員の紹介ならびに、以下の野球部員のつぶやきを読んでいただければと思います。早朝野球の結果については、乞うご期待ということで！

多田 昌弘 先生

「この「つぶやき」を利用して、私の高松市医師会野球部現役での終活をしたいと思います。ピッチャーとして活躍しましたので、試合は四国四県医師会対抗市民早朝野球大会、郡市医師会対抗野球大会、三師会親善野球大会、高松市民早朝野球大会での成績です。その他の親善・定期戦はレベル格差があるので、この四大会のみとしました。」

完投勝利 11 完投敗戦 7

先発勝利 13 先発敗戦 9

救援勝利 5 救援敗戦 7

「完投は、勝利は勝利投手で敗戦も敗戦投手ですが、先発・救援の時は、試合結果

で責任投手とそうでない場合もあります。投げた試合の勝敗は29勝23敗でした。参考資料は高松市医師会史。」

〈参加期間〉

四国四県医師会対抗野球大会	昭和37年～昭和39年
郡市医師会対抗野球大会	昭和36年～昭和41年
三師会親善野球大会	昭和44年～昭和57年
高松市民早朝野球大会	昭和44年～昭和56年

伊藤 輝一 先生

「折角ビヨンドマックスを購入したのに、今度は右の五十肩で挙上困難に…。また1年半リハビリして再チャレンジしたいと思います。」

藤井 雅義 先生

「私にとっては野球部と言えば小松監督との出会いですね。何時も楽しい酒を深夜まで交わし、東京ドームを味わう事もできました。どだい私を野球部に入部させてくれたのもコマッチャンですからね。ピッチャー香西は私には弟のように可愛い大切な選手で、思い出いっぱいです。お陰で高松市の早朝野球では勝ち進み準優勝でした。高校の時も高松商業との優勝戦は三日間もつづき、最後は協会より本日をもって勝負がつかない時はジャンケンで決めます、との放送が事前にあり、結果負けて準優勝でした。大学時代は西医体で五年連続優勝を成し遂げたと聞いております。大学時代や医師会の野球部人生を支え、常に捕手をしてくれたのが元県医師会副会長の永尾 隆君で私の親友です。彼が医師会長出馬を決心し、部員と共に歓声を挙げたのが夢のようです。赤井君が西高の正捕手であった事は入部前から良く知っていました。人間味豊かな素晴らしい選手でした。彼から息子さんの事を聞き、帰ってくる日を心待ちにしていました。その第一報が1点差の完封勝ちでした。赤井君がいたらどれほどに喜び息子さんに感謝したことでしょう。偶然にも今は亡き友の話になりました。海部君をはじめ思い出すと沢山の仲間が出てきますが一言なのでこの辺で終わります。」

田渕 保己 先生

「慢性腰痛にて野球、ゴルフは5年ほどやっております。今は孫の野球に夢中になっています。つついネット裏から大声を出し審判に注意されたこともあります。懲りずに応援に出かけています。現役時代より疲れます。」

私（権 成基）

「60歳を過ぎても楽しく野球が出来る幸せ！ 野球部の若い先生や、宇佐見君、太田聖也君を練習後の飲み会でいじる楽しさ!!」

松岡 義久 先生

「①継続は力なり。週に5回程度のジョギングが自分を支えてくれている。②投手の一番の仕事はストライクゾーンに投げ込むこと。③カウントがスリーボールになっても、球を置きにいかない。攻める気持ち。④いつもお世話になっている皆様に対して、感謝と尊敬の気持ちを忘れない。」

小川 翼 先生

「今年の春に後期高齢者となりましたが、週に4日程のスロージョギングやそれなりの運動をしてグラウンドでの練習に備えています。ユニフォームを着て、シューズの紐を結び、禿げた頭に帽子を被り(笑)、グラウンドに立てば〇〇歳程気分が若返ります。名プレイヤーの先生方と一緒に楽しく練習に参加させてもらっています。感謝。感謝です。これからもよろしく。」

塩田 邦彦 先生

「阪神甲子園球場で医師会の皆さんと野球をしてから、腰椎椎間板ヘルニアになり、今はリハビリテーションの身ではありますが、三師会野球大会に3つの忘れられない思い出があります。1つ目は私がショートで、サインプレーで歯科医師会の2塁ランナーの長町選手をアウトにしたこと。2つ目は私がショートで、藤井雅義先生がセカンドでショートゴロをダブルプレーしたこと。3つ目はその頃打ちあぐねていた歯科医師会の細川投手の外角低めのカーブに腰をかがめてライト前ヒットし決勝点をあげ、妹尾知典投手を勝利投手にできたことです。細やかなことですがわたくしの大切な思い出です。」

吉峰 公博 先生

「医師会の先生方へ。野球はつまんねーと思っているあなた！ この夏は違った角度で野球を見てみてはいかがでしょうか。特に高校野球は全力プレーの裏にある選手たちの気持ちを考えながら応援してみて欲しいです。野球っておもしろいよ！」

武田 伸郎 先生

「中西さん、山地さん、宇佐見さん、いつもありがとうございます。」

松本 義人 先生

「おい、上原。僕はおまえの分もがんばるよ！」

浅野 隆司 先生

「野球があまり上手くない、おまけに60歳の私を練習、試合に参加させてくださる皆様に本当に感謝しています。」

森岡 眞治 先生

「義兄の故小松勝彦先生に強引に入部させられて早や25年。早朝野球で二塁打を打って新聞に名前が載ったのは遠い過去。幸せにも(?)診療等多忙で練習参加もままならずいまやおなかの出たメタボのユウレイ部員。未だ袖を通してない新しい赤のユニフォームを纏いグラウンドに降臨するのはいつの日か??」

太田 憲吾 先生

「今の野球の知識と技術のまま、若い肉体が欲しい…」

小原 英幹 先生

「長男の球も捕れないくらい、球が見えません。悲しい。早朝野球、準優勝が懐かしい。」

佐野 貴範 先生

「野球部にお誘いいただいた当初は20歳代でしたが、もう今年で45歳…。肉体の衰えを痛感せずにいられない、今日この頃です。」

三浦 勲之 先生

「大阪府医師会からのご縁ありまして、香川に赴任してすぐに参加させていただき、もう早6シーズン目を迎えました。自分の下手さに苛立ちを隠せない毎回の練習ですが、一生懸命と盛り上げて楽しくすることを第一に考えています。多分このままではずっと技術的に上手にならない気もしますが、それでもここにおられる先生方やスタッフの皆さんに可愛がられながら野球をする事が何よりのエクスタシィです。気持ち悪い奴ですが、これからもよろしくお願い申し上げます。」

河井 裕介 先生

「研修医のときにお誘いいただいてから、はや10年になりました。野球ができる環境に日々感謝しています。」

井垣 俊郎 先生

「30年前の仲間だけでなく、その息子さん達と一緒に野球できる幸せ…」

宮武 慎 先生

「人生初の野球公式戦出場(バスケット部だったので)、ライトの守備と三振の1打席でしたが、次回はヒットが打てるよう頑張ります。」

渡辺 裕之 先生

「新入部員の渡辺です。長く現役でプレーできるように頑張りますので今後とも宜しくお願いします！」

赤井 開 先生

「野球でできた繋がりに感謝，野球を教えてくれた父に感謝。」

妹尾 知哉 先生

「増えない医学知識，減らない皮下脂肪。」

事務局

「日々，野球部に携わらせていただくことで，野球に限らず多くのことを学ばせていただいております。至らない点は多々ありますが，これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します！」

